



各位

2020年8月11日

会社名 **株式会社 キッツ**
 代表者名 代表取締役社長
 堀田 康之
 コード番号 6498(東証第一部)
 問合せ先 経理部長
 川口 忠昭
 Tel (043) 299 - 0114

連結業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2020年12月期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2020年12月期第2四半期連結累計期間業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月12日発表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	55,300	2,400	2,100	1,300	14.31
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (2020年3月期第2四半期)	62,199	2,816	2,733	2,033	21.75

(2) 2020年12月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月12日発表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	81,500	3,200	2,800	1,700	18.71
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第3四半期)	94,083	5,010	4,842	3,494	37.49

(注) 当社は2020年6月29日に開催された定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、2020年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。また、3月決算であった連結子会社につきましても、同様の変更をいたしました。従いまして、決算期変更の経過期間となる2020年12月期は、2020年4月1日から2020年12月31日までの9ヵ月間

決算となりますので、上記2020年12月期の通期連結業績予想は、9ヵ月間の予想数値となっております。なお、12月決算の連結子会社の2020年1月1日から2020年3月31日までの損益については利益剰余金で調整しております。また、通期連結業績予想の参考として前期9ヵ月間の実績である2020年3月期第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日）を記載しております。

(3) 公表の理由

2020年12月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、今般、各国における行動制限措置や経済活動の状況が把握できつつあることから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づいて連結業績予想を算定し公表することといたしました。

なお、連結業績予想における新型コロナウイルス感染症の事業活動および業績への影響を見極めることは極めて困難ではありますが、2020年度下期以降緩やかに経済活動が回復するものと仮定しております。

2. 配当予想について

(1) 2020年12月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2020年5月12日発表)	—	—	—
今回発表予想	4円00銭	3円00銭	7円00銭
当 期 実 績	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	10円00銭	10円00銭	20円00銭

(2) 公表の理由

当社は、配当金を株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置づけております。当面の業績動向に加え、今後の事業拡大のための設備投資、開発投資、あるいはM&Aなどの資金に加え、借入金返済、社債償還のための資金ニーズにも対応すべく内部留保の充実を図りつつ、配当の継続性、安定性にも十分留意し実施したいと考えております。

上記の趣旨を勘案し、連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準としております。

2020年12月期の配当予想につきましては、連結業績予想を見通すことが困難であったことから未定としておりましたが、上記連結業績予想及び配当方針を踏まえ、1株当たり年間7円（第2四半期末4円、期末3円）の配当予想として公表することといたしました。

(注) 上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、今後様々な要因によって当該予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上